



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信 11

(2001.4.1発行)

2000-2001

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 福田 清 成
〒483-8205 愛知県江南市古知野町小金112(江南商工会館内)
TEL.0587-52-5200 FAX.0587-52-5252
E-mail governor00-01@rotary2760.org

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

4月は雑誌月間です

クラブ会長・幹事の皆さんへ	1
雑誌月間によせて	3
地区RCC交流会議報告	4
国際協議会に参加して	5
I.M.報告	7
21世紀の扉を拓く	11
記念式典報告	15

目次

ローターアクト活動報告	16
地区ライラ委員会報告	19
GSE派遣メンバー募集	20
新入会員報告・新ポール・ハリスフェロー・ロータリー文庫	21
特別寄付報告	22
出席報告	23



我が立つところ
深く掘らざれば
すみに
清泉やくべし



クラブ会長・幹事の皆さんへ

4の月 人口・会員・雑誌・費用

R I 2760 地区ガバナー 福田 清成

ロータリーは4と相性がよい。

奉仕のFour Avenues、

4-Wayテスト、そういえば

Create Awareness Take Action、

これもFour Wordsです。

これにちなんで、人口・
会員・雑誌・費用と4つ
のことについて少し考
えてみます。

人口の動向は

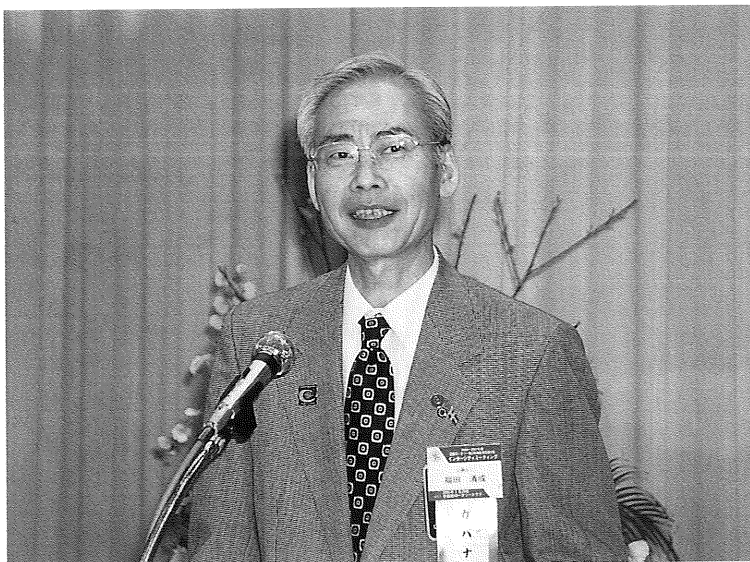
地球上のあらゆることに
対し最も影響力があると
いえます。世界的にみれ
ばついに60億人を超え21
世紀中には100億人に達
するのではとみられてい

ます。今でも何億人かがひどい食糧不足に悩んでいるのに、
どうなるのか。環境は、資源は、廃棄物は。

フランクJ・デブリン会長が

本年度、人口と開発に焦点を合わせているのは、このこと

を取り上げているものです。そして日本では水平人口を保
つ合計特殊出生率2.05を遥かに下回り最近では1.34と生ま
れる数はずっと減っています。長寿化によって人口は依然
として増え続けてきましたが、今では平均寿命の伸び方が
ぐっと鈍ってきて、あと3年位でピークを打ち、100年後



には半分程になると予想
されています。先進国全
体でも2025年頃がピー
クではと言われておりま
す。当然、経済成長率は
下がり、社会・経済は停
滞しがちであります。日
本は既にそうした圏内
に入り始めているのでし
ょう。

そこで出てく

る声は、途上国の人口増加は止めて、日本の人口は減
らさないというものです。当然に先進国のエゴと言われま
す。ではどうしたらよいのか。幸い、全く正反対の視点も
少しですが出てきております。“数の限界は世界全体にも
起きるであろう。日本はかつて急膨張中、静止人口を望ん

でいた。それならむしろ今の状態を前向きに受けとめればよいのではないか。数・量が減るときうまくゆく経済があってもよい。洗練、高度、高級、稀少、貴重、節約、簡素、循環などを鍵とした仕組みに答えを求められないだろうか。GDP成長率0でも個人の所得は上げるといった見方、あるいは知足の経済、又は超長期そして宇宙的な捉え方、自然の中にはもっとすごい知恵が潜んでいるのではという希望”

オブティミスティックな方向を尋ね進むことが折角21世紀の幕開けに立ち会った私達の課題だと思います。

1997年の120万人を最大に、 僅かですが世界のロータリアンは減少しており、R Iは危機感を募らせデブリン本年度会長、キング次年度会長が懸命に会員増強を働きかけています。

全体の人口が増えているのに、他者のことを第一に考え思いやるロータリアンのような人たちが減る傾向が続いたら、世界や地域社会にとって不幸なことだと思います。人口が増えて会員が減る状態はよくありません。ある地域の会員の比率が高まればそれだけすみよい所に、心温かい利己を抑え利他を考える人達が増えたことになるのではないのでしょうか。当第2760地区の会員数は、

1999年7月1日	6130人
2000年7月1日	6138人
2001年1月1日	6161人

であります。2000-2001年度の前半は、一見順調に見えます。でも、12月と6月はそれぞれ100人位の方が退会されます。人は永遠ではありませんからこのことは当然ですが、大事なのは新しい会員を迎え入れることです。

会員といえばクラブですが、機能しているクラブについてR I理事会は5つの点で定義しています。

- ①20名以上の会員
- ②R Iへの人頭分担金
- ③毎週の例会
- ④ロータリーの雑誌の購買
- ⑤奉仕プロジェクトの実施。

4月はロータリーの雑誌月刊です。

『ザ・ロータリアン』公認の地域雑誌の購買をきわめて大切に扱っています。きっと世界中のロータリアンの絆であり、奉仕の理想の強力なモチベーターだからでしょう。もう一度意識を喚起し『ザ・ロータリアン』や『ロータリーの友』に目を注ぎましょう。会員に対する雑誌と同じように、クラブ会長・幹事宛てに「ガバナー月信」を発行するように決められていますが、併せて本年度全会員の皆様に有料講読をお願いしましたところ、お聞き入れいただき誠に有難く感謝致しているところであります。おかげさまでご講読費も控え目に出来ました。

会員の増強に関して思う事は、

R Iや地区の人頭分担金やクラブの維持経費のような費用を出来るだけ少なめにできないかということです。ロータリアンのように色々な立場でリーダーシップを発揮している人達は効率・費用対効果を重要視します。

ロータリーの目的遂行のためにはそうした費用の多寡はそんなに関係ありません。だからそうした費用は極力抑え、余力が出れば会員一人一人が自主的に奉仕面に一層の力を入れるというのが望ましいように思います。このことについても会長・幹事の皆さんはじめ地区内ロータリアン各位のご理解を概ねいただけたように思い、本当に嬉しく有り難く感じております。

**新しい会員を迎え入れるべく
意識を喚起し進んで行動を
されますように。**



雑誌月間によせて



地区広報委員会
委員長 種村桂介



ロータリーの友
地区委員 岩井良明

ことしも『雑誌月間』がやって
きました。月刊誌『ロータリーの友』普及のため
の月間です。

1996～97年の松本宏パストガバナーは「『ロータリーの友』
はロータリアンにとってロータリーの“百科事典”であり、“教
科書”“ガイドブック”はたまた“生涯の友”であります。

『友』は果たして、あなた個人にとってどんな存在意義が
あるのか、考えてみるのにもロータリー雑誌月間はいいい機
会です」と98年4月号の『友』で明快に述べています。

『ロータリーの友』は生涯の友

何とすばらしい言葉でしょう。RC会員は、まさにお互いの
生涯の友なのですから。

ご存知のとおり『ロータリーの友』の購読はロータリー
会員の三大義務（会費納入、例会出席、機関誌購読）の一
つです。私は購読と編集への参加はロータリー会員のもっ
とも大切な権利でもあると思っています。

いま購読費は年会費の中から一括支払われており、やや
購入している意識が薄くなっています。クラブによっては
『友』誌が事務所に沢山残っています。仕事の繁忙さで殆
ど読んでいない会員も少なからずいます。『友』は年間5億
円余の予算で東京・芝のロータリーの友事務所によって総
力をあげ、定期に発行されています。

**この『友』を生涯の友として、
生き生きとしたロータリー活動
と友情の輪を広げていきたいも
のです。**

この4月は雑誌月間です。

我が国の『ロータリーの友』は1953年1月の創刊以来
今年で48年目を迎えます。現在、日本のロータリーでは『ロ
ータリーの友』がRI認定の公式雑誌となっていますが、
これはRI公式機関紙『THE ROTARIAN』に次いで、
世界で2番目に発行部数の多いロータリー情報紙です。今
月はこの『THE ROTARIAN』及び『ロータリーの友』
の講読と、その活用に役立つプログラムを実施するための
月間で、雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロ
ータリー情報の普及を図ることが目的である、とされてい
ます。

標準ロータリークラブ定款第12条

及び国際ロータリー細則第20条にも「正会員、シニア
クラブ会員及びパスト・サービス会員は、RI機関紙『T
HE ROTARIAN』または、RI理事会が承認した地域
雑誌『ロータリーの友』の有料講読者となり、会員である
限り講読を続けることを会員身分保持の条件としなければ
ならない。」と定めています。

また、IT化が進む中、4年前よりインター
ネットにもRIページが開設され、<http://www.rotary.org>が
ロータリアンのアクセスをお待ちしています。

ぜひこの機会に、月初めの各例会で雑誌委員長によって
内容の紹介がなされ、少しでも多くの地区ロータリアンが
投稿され、『ロータリーの友』がより私達の身近に感じら
れる雑誌になるよう、ともに頑張りましょう。

2000—2001年度

地区RCC交流会議報告

地区RCC委員会 委員長 前田 捷彦

日 時 2001年2月23日(金)
場 所 ホテルキャッスルプラザ
ホ ス ト 地区RCC委員会

プログラム

受付・登録 15:30~15:55

本 会 議 16:00~17:00

- ・開会宣言(司会進行) 地区RCC委員 川澄 傳
- ・来賓紹介 地区RCC委員長 前田 捷彦
- ・委員長あいさつ 地区RCC委員長 前田 捷彦
- ・ガバナーあいさつ 地区ガバナー 福田 清成

・各RCC現況報告 各RCC代表

進行 地区RCC委員 松本 正則

・講 評 地区ガバナー 福田 清成

・閉会あいさつ 地区RCC副委員長 永田 和氏

休 憩

懇親会 17:40~

・司会進行 地区RCC委員 後藤 正

・開会あいさつ 地区社会奉仕委員長 千田 毅

・乾 杯 地区ガバナー補佐 林 成樹

(食事・歓談)

・中締め 地区RCC委員 長瀬 傳郎

閉 会 19:00

「2000—2001年度R I 第2760 地区RCC交流会議」

は、福田清成ガバナー、伊藤鶴吉地区幹事、林成樹ガバナー補佐、藤井克己次期地区幹事、千田毅地区社会奉仕委員長の出席のもと、各クラブ委員長等120名余の出席を得て開催されました。

RCC(ロータリー地区社会共同

隊)は現在、世界58ヶ国、158地区に3,809チーム、87,600人余の隊員が活動していますが、日本では6地区に18チームで、内9チームが当地区にあります。当日は9チームより25名の隊員も出席して交流を深めました。

本会議では、福田ガバナーより各RCC隊員に日頃の活動に対しての感謝と激励の言葉があり、各RCCの代表者による現況報告がされました。

会議後の懇親会では、ロータリアンとRCC隊員との親睦交流、情報交換が行われ、盛会裡に終了しました。



当日出席RCCと提唱ロータリークラブ

豊橋RCC	(豊 橋)
半田教育サークルRCC	(半 田)
豊橋ゴールデンRCC	(豊橋ゴールデン)
名古屋守山RCC	(名古屋守山)
岡崎少年野球サークルRCC	(岡 崎 東)
常滑ハートケアサークルRCC	(常 滑)
安城少年野球サークルRCC	(安 城)
名古屋手をつなぐ育成会RCC	(名 古 屋 中)
半田国際交流ネットRCC	(半 田)



2001年国際協議会に参加して

新たなる旅立ち

R I 2 7 6 0 地区ガバナーエレクト

太田 賢 太 郎

2001年国際協議会は、

2月17日より23日まで米国カリフォルニア州アナハイムのヒルトンアナハイムで行われた。17日19時55分全地区ガバナーエレクトは、「入りて学ぶ」の標示に迎えられて

着席(指定席)隣に妻が緊張して坐っている。

定刻20時に、第1回本会議が開始された。

フランクJ・デブリン

R I 会長の司会のもと

ロータリー加盟国の国旗入場、わが日本の旗

手は、南園研修リーダ

ーで日の丸の国旗を掲

げて会場を何回も廻る。

国際色豊かに次第に雰

囲気を盛りあげていく。愈々「学ぶ場所へ来たのだ」新たな感慨がこみあげてくる。

たつの永遠の間で」が始まる。イヤホンを耳に同時通訳が行われ、おかげで理解することができる。熱弁であり感動的である。本会議11回、グループ討論14回、本会議は早い時で8時20分に着席、種々の講演を聞き、それから

グループ討論である。

丸山理事、板橋次期理

事、南園研修リーダー、

神崎研修リーダー、同

時通訳を殆んど担当さ

れる玉村パストガバナ

ーをリーダーとして行

われた。熱心さは格別

でその知識といい、話

し方といい、抜群で、

特に各人が意見を出し

討論するのは良い勉強

法でよく理解できる。時間は厳格、気を抜くことは出来ない。

リチャードD・キングR I 会長エレクトの基調講演「ロータリーの仕事……ふ

17日の夕刻 本年度のR I テーマ「人類が私たちの仕事」が発表され、同時



本会議場入口の「入りて学び」の看板

にテーマ・フォルダー、会長賞、会員増強キャンペーン……ロータリーの全世界での探求の三種のパフレットが配付された。

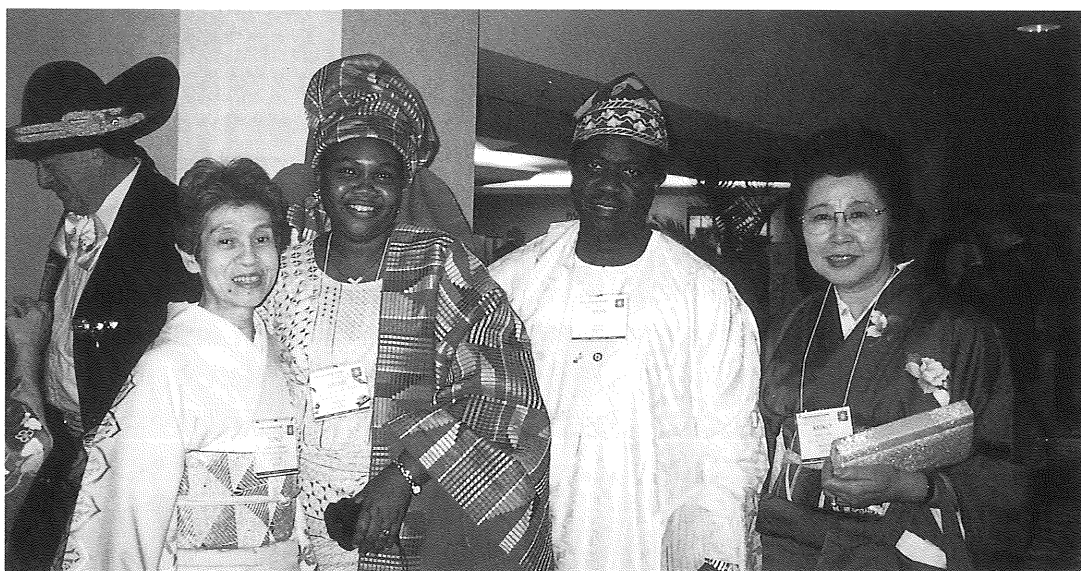
キングエレクトは午前3時まで寝ないで読み、この協議会中に全部消化してと云われる。疲れた体をベッドに埋め、ああ初日はこれで終わった。明日から一生懸命がんばろうと妻と励まし合う。

「これが私の仕事だ」と自分自身に言い

聞かせる。配偶者も大変である。配偶者だけの本会議もあり、グループ討論会もある。「効果的なガバナーの配偶者になるには」「R Iの組織構造について」等多彩である。



2001年～02年のG S Eの相手先第3750地区金エレクト夫妻と



国際親善の一コマ

ガバナーエレクトは、

ホテルの外に出る余裕はなく、終始ホテルに缶詰め状態

だ。しかし固いことばかりではなく晩餐会や会長主催の夕食会、国際祭りの夕べ等で気分転換を図ることも出来た。

国際交流の面では、食事時に名刺を交換し合う情景はさすがロータリーの感を深くした。

世界のエレクトが一堂に会して

研修を受けるのだからハードになるのも当然だが終ってみれば本当に充実した毎日であった。

このような貴重な経験が出来たことは、会員の皆様のおかげであると感謝の気持ち一杯で厚くお礼を申し上げます。



板橋次期R I 理事によるグループ討論会



式典風景

西三河分区

21世紀

“取りもどそう、国の宝”

西三河分区ガバナー補佐 加 納 隆

開催日 2001年2月17日(土) 13:30~18:30

場 所 衣浦グランドホテル

ホスト 西尾KIRARAロータリークラブ

参加者 特別出席者9名、一般会員430名

式 典 第一部 基調講演

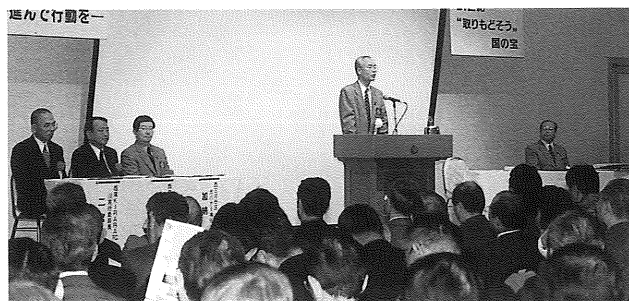
「道本円通」 副題「すべてよし」

講師 仏国寺住職 原田湛玄老大師

第二部 全体ディスカッション

テーマ「21世紀 “取りもどそう、国の宝”」

懇親会



福田ガバナー挨拶

今年度、創立10周年を迎える西尾KIRARAロータリークラブが、IMのホストを努めさせて頂くのは、初めての体験であります。毎年行われるすばらしいIMの大会に負けないような、そして皆さんに楽しんで頂けるIMの開催を目指して、一年前から実行委員会のメンバーによる度重なる打合せが行われ、上記のテーマに決定いたしました。

昨年来、新聞、テレビなどで報道されています青少年の犯罪や、学校、家庭における児童、生徒による事件は、現代の世相を映し出しているかの様であります。しかし、私達は、親として、ロータリアンとして、明るい健全な社会を新世代に引き継がなければならない責務があります。

この様な思いから、第一部の基調講演には、仏国寺住職の原田湛玄老大師に「道本円通」副題「すべてよし」と題し、お釈迦様が悟りを開かれた経緯、そして、この世に現れた全ての物は「天地同根万物一体であり」たった一つのものである。私達は本来の自己に目覚め、身をしっかりと定めれば、**“すべてよし、**なのであるとのお話をして頂きました。

第二部の全体ディス

カッションでは「21世

紀 “取りもどそう、国

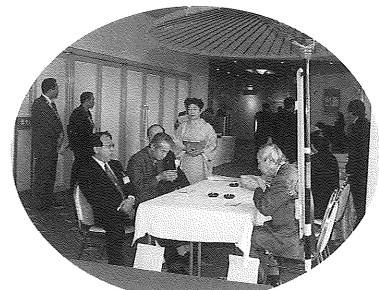
の宝”をテーマに分区

内、各クラブから5名

の方々にパネラーとし

て登壇して頂き、フリ

ーアナウンサーの颯田



お茶の一時

圭子コーディネーターによる、熱のこもったディスカッションが行われました。内容は、事前のアンケートを基に、青少年の非行、凶悪犯罪、学校崩壊などの問題についての意識、又、親として、ロータリアンとして、家庭教育や地域社会への係わり合いについてどの様に考え、又、行動を起こして行くのか等々、多岐にわたり時間の経過を忘れる

ほどの議論が展開されました。



講師紹介

最終となった、懇親会は大勢のロータリアンの参加で、広い会場も狭く感じられるほどであり、次年度地区大会を開催される、碧南

ロータリークラブのPRなど華やかな雰囲気と共に参加者メンバーの友情の輪も大いに広げることが出来ました。

終わりにあたり、福田ガバナー始め、出席者の皆様方に一方ならぬご指導とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げ報告と致します。



懇 親 会



花沢ガバナー補佐

西三河中分区

過去・現在・未来を見つめ 希望をもって21世紀へ前進

西三河中分区ガバナー補佐 花 沢 勇

開催日 2001年2月24日(土) 13:30~18:30

場 所 ホテル フォレスト

ホスト 豊田三好ロータリークラブ

参加者 特別出席者14名、登録者200名

基調講演 最後のいのちをどう生きるか

名古屋市立大学名誉教授 水野 金一郎

特別講演 可能性への挑戦

中京大学教授 室伏 重信

I.M.が終ってアシスタントガバナーの勤めもあと3ヶ月になりましたが、私はガバナーと約束致しました件に就きましてはこの紙面を借りまして必ず実行致す所存ですのでご期待下さい。



基調講演 水野 金一郎 様

最後に福田ガバナー、伊藤地区幹事のお二人について表現致しました失礼なことばについて反省致して居りますのでご容赦下さい。私なりに良く出来た表現だったかなあと心では思っています。

どうかあと3ヶ月アシスタントガバナー花沢とのお付き合いとご指導ご鞭撻の程お願い致します。

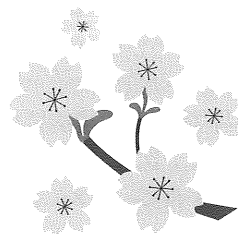


式典風景

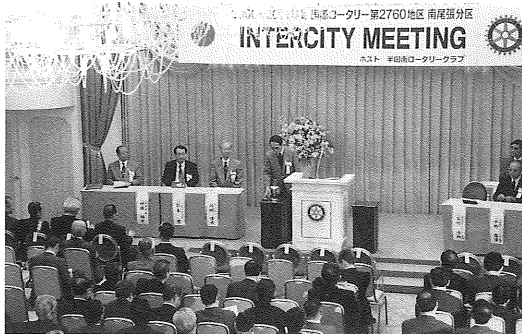
2月24日ホテルフォレストにて、西三河中分区のIMを開催致し無事役目を成しえましたことを報告致します。

当日ゲストスピーカーとして名市大医学部名誉教授水野先生には「最後の命をどう生きるか」と言うテーマで、続いて中京大学教授室伏先生には「不可能への挑戦」と言うテーマにて、ご自身のハンマー投の経験に就いてご講話頂きいずれも心に深く感銘を受けました。心から水野教授、室伏教授には厚く御礼申し上げます。

又ロータリーからは福田ガバナー始め多数のロータリアンのご出席をたまり盛の内に終えることが出来ました。上川実行委員長及びメンバー全員が一致団結して企画、計画して下され大過なく無事終ることが出来ました。主催者と致しましては、ご参加下さいましたロータリアン全員の方々に深く心より感謝致します。



懇 親 会



式典風景

南尾張分区

意識を喚起し—— 進んで行動を

南尾張分区ガバナー補佐 石川 治 郎

開催日 2001年2月25日(日) 14:00～

場 所 中日パレス

ホスト 半田南ロータリークラブ

参加者 一般会員353名(全員登録)

第一部 式典

第二部 講演 テーマ 「21世紀の知多半島は!!
ロータリアン進んで行動を」

講 師 愛知県国際交流協会々長
(前愛知県知事)

鈴木 礼 治 氏

第三部 懇親会



左から伊藤地区幹事、松本バストガバナー、福田ガバナー

国際ロータリー第2760地区南尾張分区の2000～2001年度 Intercity Meetingが、福田ガバナーをはじめ、特別出席者の方々と並に分区内各クラブ全員のご参加を得て、盛大に開催することが出来ました。心よりお礼申し上げます。

本年度のR. I. テーマは、「意識を喚起し 進んで行動を」であります。このテーマにふさわしく、前愛知県知事で「進んで行動」を實踐してこられた鈴木礼治氏を講師にお迎えして、基調講演を行なうことが出来ました。

講師 鈴木前愛知県知事

中部国際空港や愛知万博の話を中心として、大変貴重なご講演を聞くことが出来ました。

懇親会では、新入会員の紹介も行い、南尾張分区内6クラブのロ



懇 親 会

ータリアンの交流が多いに図られました。

終りに当り、区内の会員の皆様方のご協力に対し、深く感謝申し上げます。



新入会員紹介

I. M. 記念講演要旨

奮起せよ、三男坊 ビックプロジェクトを控えて

演題「21世紀の知多半島は——ロータリアン進んで行動を——」

前愛知県知事 鈴木 礼 治

企業人の皆さんは私が想像する以上に企業間競争をしてみえます。それと同じで各地域も地域間競争をしています。例えば東京は「首都圏整備法」、大阪は「近畿圏整備法」を作って、この二大都市が競争しています。この中で中部は私の前々知事であった「桑原知事」が「中部圏開発整備法」を作り、二大都市に伍すべく、あえて「開発」の文字を入れ成文化された。直接的には企業間競争項目に見えないですが、「自分の城は自分で守れ」と懸命に努力してきたわけです。

特にこの地域の発展には「交通事情」を良くし、便利にしなければならぬ。その最たるものが「空港」である。しかし空港だけでなく、

- ・東名・名神各高速道路
- ・リニア中央新幹線

・空港 の三点セットで利便性を高めようとしたわけです。しかし、この三点セットも唱えているだけでは中々実行されませんので、「万博」という一大イベントをかぶせているのです。

まず「道路」については「東名」「名神」しかない時代は「愛知」の優位性が多々あったが、高速道路が北へ南へと延長され全国的に整備されるに従って、当地区の優位性は薄れ、特性も沈下してきました。

そんな中で「新空港」を着工しました。これも着工にこぎつける迄には難問が山積していました。特に「成田」「関空」という二大空港があるのに、「中部新空港」が本当に必要かと、中央官庁も含め疑問を投げかけられていました。中部地区で生産された物が成田・関空で80%以上が輸出され、同じく当地区で消費される輸入についても圧倒的に成田で荷下ろしされていました。又、当地区の「空港」の話が出る前から「首都圏第3空港」の重要性が訴えられていましたし、現在もくすぶっています。結果的には「第3空港」より「中部新空港」が着工したわけです。

しかし、着工はしたものの「首都圏第3空港論」の延長として「羽田」の「国際線」化にともなう拡張論が急浮上してきました。昨年10月の国勢調査の結果、東京の28万人を始めとして神奈川・千葉・埼玉の関東圏の人口増がはっきりしました。正に「羽田」問題には追い風になっています。一方「関空」についてはヘドロ状態の上へ空港を作り、明らかに地盤が沈下する事が判っているのに、新しくもう一本滑走路を懸命にしています。

「長男」である「東京」には親元である「中央官庁」がついているし、「次男」の「大阪」は世論のマトマリが良く、いつも「長男」に対する対抗心がある。その点、「三男」の「愛知」はオットリしている。「次男」の「しぶとさ」と「ひたむきさ」は学ぶべきである。

幸にも「中部新空港」は着工し、「万博」というイベントと並行して完成させるべくスケジュールに入っています。「成田」の国際線化と関空の滑走路増設が決定を見る前に「県民」が一つになって盛り上げるべく「世論」形成が是非必要です。

地域間競争はこれからも続くでしょう。中部新空港が完成すれば「知多半島」は一変するでしょう。

その日を迎えるにはまだまだ難問が多いでしょうが、県民の皆さんが「大阪」に学び「心」を一つにして「万博」の成功と共に「意義ある空港」ですのでは非完成させて下さい。



小坂ガバナー補佐

西名古屋分区

人口・環境・道徳

——難問の中で

西名古屋分区ガバナー補佐 小坂 忠 勝

開催日 2001年2月26日(月) 13:30~18:30

場 所 名古屋マリオットアソシアホテル

ホスト 名古屋栄ロータリークラブ

参加者 特別出席者12名、会員371名

第一部 式典 特別講演 みんな地球に生きる人

アグネス・チャン

(歌手、エッセイスト、教育学博士)

第二部 懇親会



式典風景

新世紀を迎え2月26日マリオットアソシアホテル良き雰囲気の中で「第一部」式典並びに講演が点鐘で始まる。「君が代」「奉仕の理想」の斉唱、厳粛に緊張感みなぎる。開催の挨拶は「ガバナー補佐として21世紀の初頭にIMが、福田ガバナーを始めパストガバナー、地区役員、各クラブの会員の多数の出席のもとに盛大に開催出来る事は大変意義深く感じます」と。

私達の使命「意識を喚起し一進んで行動を」の主旨を全世界のロータリアンに呼びかけられたフランクJブラウンRI会長。



特別講師 アグネス・チャン

福田ガバナーは挨拶の中で人口問題、環境問題、道徳教育と平和を願う誠の人の道を尊重すべきであると強調され又、「四つのテスト」真実・公平・好意と友情、理念に基づき奉仕すべきであると。

意識を喚起し——
進んで行動を



福田ガバナー挨拶

ホストクラブ安藤会長は創立10年を迎えこの大役を有意義に進行されました。高木実行委員長は、主旨に基づき特別講師にユニセフ大使、文化人として幅広く世界に活躍されているアグネス・チャンさんを迎えて、地球社会の現状又、実践しているお話を聞きました。

飢え、苦しみ、宗教紛争、食糧不足、骨と皮の子供達の死、至る処で多く民族の悲惨を知る時、私は終戦後の日本の焼失した悲惨の状況を思い浮べました。又アフリカの子供が日本の10円で三食食べられる事を聞いた時価値観の違いの恐ろしさを知りました。彼女は歌手として歌で吾々の心を感性豊かにし、好評の中に終わりました。

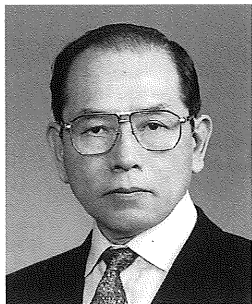
次期IMホストクラブガバナー補佐 林 隆二、次期IMホストクラブ会長 名南RC会長 新原 尚の両名の紹介を終えて閉会。

「第二部」の高木実行委員長の開会挨拶により懇親会。盛田パストガバナーの乾杯に始まり会は楽しい雰囲気の中、アマチュアバンド演奏、ジョイフル・サウンズ・オー



高木 I.M. 実行委員長

ケストラで会は一層楽しいハーモニーがみなぎり会場は満足感がただよい、最後に「手に手つないで」の合唱でロータリアンは声高らかに友好の内に閉会。ホストクラブ栄の実行委員に重ねて感謝する次第です。最後にIMが無事閉会しました事は福田ガバナー始めパストガバナー、地区役員、各クラブの会員の多大のご支援によるものと感謝すると共に各クラブの益々のご発展とロータリアンのご多幸とご健勝を祈願してお礼と報告と致します。



「ビジョン21」
委員会

藤原 研一
(名古屋名北RC)

このような機会をいただき光栄に思います。

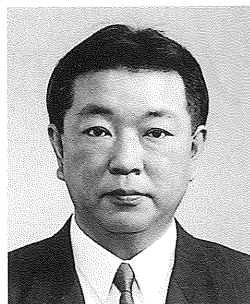
私共のロータリークラブでは3年前に“ビジョン21”なる委員会をつくりました。これは私の発案で私共名古屋名北ロータリーのこれまでのあゆみを検討し今後の足がための礎にしようと会員各層の方々に、貴重な時間を割いて、熱心に討議をしていただきました。この様な意味で私が“21世紀の扉を開く”というテーマに私見をのべさせて頂くことになりました。

21世紀を展望するということは大変なことであります。20世紀は物の時代でありましたが、21世紀は心の時代であるといわれています。ロータリー活動を考えると、ポール・ハリスは“世界は常に変化している、ロータリーはこの世界とともに変化して成長してゆかねばならない”と述べています。

拡大路線ばかりがよいのではなく、ロータリーの基本にのっとり、各クラブの事情に合わせた活動をするのが望ましいようにおもわれます。これまでロータリーは約100年活動してきた。このことは其れなりに評価されているとおもわれます。21世紀は到達点ではなく、通加点であることを考えると、更に発展する為には基本を忘れずに、守らねばならないルールと、身に付けなければいけないマナーを会得して、この確かな時間だけがわれわれに与えられた価値あるものであることをよく理解して次の世代にバトンタッチせねばなりません。有名な詩人が印象派の絵画を見て“絵が絵であるから価値がある”と言った話がありますが、これはいままでの絵画が特定の階級のものであったことをさしています。ロータリーがロータリーであるからよいのであります。本年度のF.J.デブリンRI会長のメッセージ“意識を喚起し一進んで行動を”と言うテーマに集約されますが、過去、現在、未来を見つめ、希望を持って特別誇らずただ笑顔で尽くせる こんなことこそロータリアンの鑑だと思えます。

ロータリー歴

昭和57年4月7日 名古屋名北ロータリークラブ入会
1985年～86年 プログラム委員長
1987年～88年 職業分類委員長
1988年～89年 米山記念奨学委員会委員長
1990年～91年 国際奉仕委員長
1994年～95年 ロータリー財団委員長
1996年～97年 会長エレクト兼クラブ奉仕委員長
1997年～98年 会長



託すと同時に
重い責任

久森 宏
(豊川RC)

近頃の若者から新人類またはその子へ送る

団塊の世代やその更に先輩から昭和30年代生まれの我々は社会に出てすぐ“近頃の若者は？”と言われ続けてきた。私達は次の世代を“新人類”と呼んだ。そしてその次の世代の子達を“最近の若い子達は何をするか分からない世代”であると呼ぶ。

20世紀最後に様々な事件が起きた。でも大多数の若者達は、我々や先輩達がそうだった時代に比べれば、すばらしく勤勉で、多くの勉強をし、自ら進んでボランタリーに社会に貢献し、我々の頃の数十倍もの情報をコントロールし自由闊達に生きている。日本での初めての個性的な世代—それが最近の若い子達ではないだろうか。

30年前テレビで見た。家族が宇宙で暮らし思考力を持ったロボットが家事を手伝い、携帯TV電話で話す。今やこれを全くの夢物語と評する人はいないであろう(もっとも歩くロボットはペットに変わったが)

我々が過去に培ってきた知識や技能は、情報としてコンピュータが管理出来るし、何処でも誰でも活用できる現代は、超加速度的に技術の進歩が達成されるに違いない。

飛躍的に社会を動かす道具が変わる今こそ私たち、最近の若い子達から見て人生の先輩達が、過去作り上げてきた習慣や法則や価値観を見直し、何が必要で何を変えるべきか、自らが判断を下す時ではないだろうか。今から生まれる、世界を・宇宙を股に駆ける今時の子供の更にその子供達が、

間違ったボタンを押さないようにする為に
新しいスピードの世紀に20世紀の負の財産を

残させない為に

ロータリー歴

1996年4月10日 豊川RC入会
2000年～2001年 新世代委員長・理事
ポールハリス準フェロー



「ニュージェネレーションクラブ」
扉を開くカギ

加藤 正 男
(岡崎南RC)

1999～2000年度において当地区として久方ぶりに2つの新しいクラブが相次いで誕生しました。三河安城R.C.及び豊田中R.C.のロータリアンズは、きっとロータリーを大いにエンジョイされつつあることでしょう。スポンサーとして見事な成果を实らせた安城R.C.及び豊田東R.C.の会員各位のご功績をたたえ、あらためて深甚ある謝意を表する次第です。

「拡大」は、あらゆるクラブにとって最高のはまれであり、最も輝かしいマイルストーンです。「拡大」こそは、近代化を大前提としつつ、ロータリーの綱領に基づく素晴らしいロータリーの世界を維持し、「奉仕の理想」の分かち合いを広め、ロータリアンズが力強く未来に向かって前進を続けるためのエネルギー源です。

新しいクラブはロータリーをフレッシュアップし、近代化を計る重要な糸口です。おおむね年功序列的な人事を廃し、クラブのもっと弾力的な運営を目指そうとするには、確実に新しいクラブが誕生することが必要です。

新しいクラブは既存のクラブから学び、既存のクラブは、新しいクラブから刺激を受けるというプロセスにより、ロータリーの世界は、自ずと近代化が推進され、常に新鮮たり得るのではないのでしょうか。

もちろん「拡大」は容易ではありません。スポンサークラブの長い年月に亘る積み重ね、リーダーシップ、情熱は当然不可欠です。どのクラブにとっても、今すぐ「拡大」を实らせることは至難の業です。然し、「拡大」を「目標」とすることは十分可能です。

「目標」を持たない集団は発展できないことは自明の理です。古色蒼然以外の何者でもない部分を有さない、会員数20～30名ぐらいのもっと経済的かつもっと密接な相互関係をベースに運営することを旨とするいわば「ニュージェネレーションクラブ」は、21世紀におけるロータリーの扉を開く1つの鍵にちがひありません。

ロータリー歴

1970年8月7日 岡崎南RC入会
1990年～91年 地区国際奉仕委員会委員
1993年～94年 R.I. 2760地区大会 大会幹事
1993年～94年 会長エレクト・岡崎南RC創立30周年記念事業実行委員長
1994年～95年 岡崎南RC会長
1995年～96年 西三河第一分区分区代理
1996年～97年 R.I. 2760地区青少年活動委員長
1997年～98年 R.I. 2760地区青少年活動委員長
1999年～00年 R.I. 2760地区拡大委員長
2000年～01年 R.I. 2760地区拡大委員長

P.H.マルチプルフェロー
米山功芳者



心豊かな社会を
作り上げる為に

辻村 和 美
(西尾KIRARA RC)

バブル景気があった。弾けて不況と呼ばれる状況となった。時を同じくして少年事件、保険金殺人、高離婚率、少子化等などと社会問題となっている。政治の貧困、教育の破綻と叫ばれ、日本は混迷の様相である。

この日本丸がどこに行こうとしているのか分からない。そんな不透明な動きが会員数の現象となって現れてきているのではないかと考える。21世紀にどんな地球、どんな世界、どんな日本を残していかなければならないのか。

今一番に大切だと思われるのは教育問題だと考えます。日本人の誇り高き大切な文化だと考えていたあの道徳心、向上心、そして人情味溢れる優しい国民性、どれも日本が世界に誇って良いものばかりであった。今まったくなくなってしまったとは言わない、しかし失われつつあるのは確かです。最近の痛ましい出来事は、今までの日本では考えられない事ばかりです。

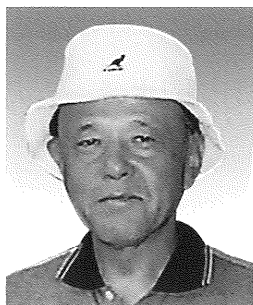
世の中の移り変わりと同時に人間も進歩、変化していくものですが、無くしてはならないもの、変えてはならない物があるはず。学校教育、家庭教育、社会教育等色々な角度から考えてみる必要があります。

世界の中の日本を考えた時、不況だと言いつつも経済的には非常に恵まれた環境にあると思います。飢餓、貧困に苦しむ多くの人々がいます。世界においては流れの良い経済システムの構築に寄与し、日本においては心豊かな社会を作り上げるために、英知を結集すべき大切な時期に来ていると思います。

ロータリアンとして取り組むべきだと考えます。

ロータリー歴

1989年1月～91年6月 西尾RC在籍
1991年7月～ 西尾KIRARARC
2000年～01年 クラブ会長



日本の役割 「果せるか世界融和」

大島 邦彦
(知多RC)

扉を拓く前に19世紀、20世紀の歴史を振り返ると我々は科学や技術の進歩・進展で物質文明の豊かさは満たされつつある。生活環境の特殊性や時局の変遷により多少価値観の差異はあったが衣食住への充足を求めてきた人類の生き方に大きな変化はなかった。この間ファシズムと社会主義に脅かされたが人々には自由と民主主義が絶対的かつ普遍的な理念と受け入れられつつある。

21世紀も 人類は己の欲望をより満たすことへ邁進するだろう。ただ欲望の中味に変化が生じると恵まれた国・民族といまだ発展しつつある国・地域との欲望の充足度格差は縮まらないままだろう。

20世紀まで 恵まれた先進諸国は食べる物、着る物、住む所の課題から解放され物質より精神の充実より美味しいものへより楽しいことへより少なく働くことへより名声・探求心等を満たす要求を高めるだろう。その過程で先進国の一部では己の地政学的条件、文化的バックグラウンド、祖先から崇拝する宗教等が原因で民族毎の小競り合い紛争が続く恐れがあり発展途上国は餓死から開放され余裕ある生き方を模索するなかで時に先進国の既得権への反発が予想される。

日本はこの2極化の過程で 分類としては経済の進んだ北半球に所属しながら豊かになって次の目標を定めきれない迷いがある。特に20世紀最後は経済成長で先進国に追いついた分物質文明の次なる課題が解らず政治、経済、社会の荒廃を来し倫理・教育の退廃で将来国が滅びるのではないかと不安を持たせる。世界の国によってはここ数年非物質ないし非経済的な価値を物質的価値より優先する思想が見られる。地球環境自然保護人権社会秩序等の非経済的問題を重視しつつある。

わが国はいまだ物質文明の思想から抜け出せずポスト工業社会への進路に向かう哲学が確保されていない。今の恵まれた立場を継続するため地球上の諸紛争解決自然保護富の公平化の先頭に立って行動し海外から信頼を得ることが日本の現状を守る方策かもしれない。少なくとも化石燃料の枯渇人口扶養能力を超えるという食料危機の対処のため資源に乏しい日本は世界融和にまず取組まなくてはならない。特に近隣アジア諸国との親善・相互信頼を築くべくロータリークラブ(RC)としてはますます世界各国に存在するRCとの融和を図り恵まれない国・社会・人々への援助指導をNGO(非政府系組織)やNPO(非営利組織)の如き国際的活動をしたい。

ロータリー歴

1996年2月19日 入会
1997年～1998年 ロータリー財団委員長
1999年～2000年 国際奉仕副委員長
2000年～2001年 出席委員長



「文化」で 扉を拓く

木下 新一
(一宮北RC)

我が一宮北RCの会員は74名で文化を愛する人達で多士済々であります。私はロータリーの展望を親睦活動に限って話をしたいと思います。先ず今迄の一宮北RCの文化活動を紹介して、「21世紀の扉を拓く」とこととします。

会員には色々な文化のコレクターがいます。これらの会員を軸として一宮北RC美術同好会を結成しています。佐藤総一郎会長、木下新一顧問、コレクターは佐藤総一郎君(洋画、日本画、安藤日出武の古美濃)松原幹彦君(洋画)山本基君、山本保君(香川泰男)豊田昌夫君(古地図その他)豊島徳三君(ブリキのおもちゃ集め「おもちゃは人生の友」)井上千富君(ミニカーコレクション)木下新一君(ボール、ゴーギャンの木版画、水彩モノタイプ)荻本鉄夫君は日本画、伴正保君は木版画の製作に定評があります。荒井昭一君はチャーチル会の会長、次に茶の湯の会(みどり会)会長、浅見弥進君。黒木義公君、安井久男君、藤堂英房君、藤原峯忠君、森新介君、加藤勉君、井上千富君、岩田全功君、バラ栽培30年のベテラン加藤康夫君、岩井勝君、丸井利軌君、次に観世流能楽(謡、仕舞、能楽)の達人、早川英司君、一宮北RCのゴルフ会ITG会長山内国雄君、シングルプレーヤー(8)石黒三雄君、滝義孝君、外30名、更に囲碁愛好家、森田進君、森四郎君、橋本坦(あきら)君、岩井勝君、佐分博明君、日野康司君(医師)は合気道護身武道の達人で「力を入れず指一本で相手を倒したり手をふれずに相手を倒したりが出来ようになりました。今後は一層稽古を積み技を磨く一方、(気)を(医)に利用出来たらいいな」と思っているそうです。以上の文化活動で親睦を交すのは、例会で食事するだけでは不十分です。例会外での長い親睦活動は各文化の分野で厚みを増し、非常に効果が上っています。今後もこの活動を展開する事によって更に発展させて「21世紀の扉を拓く」よう努力するつもりです。

11/29NHKの本年度紅白歌合戦のテーマは「歌で二十一世紀の扉を拓く」と発表されました。我が一宮北RCも文化で二十一世紀の扉を拓く」と期せずして一致しました。

21世紀も色々計画しています。春には愛知県美術館で岸田劉生の展覧会を開きます。村田主任学芸員に現物を目の前にして説明を聞く機会を計画しています。その後、魯山人の器のコレクションで有名な、名古屋八勝館の主人の御好意で魯山人作の器で食事をする予定です。

ロータリー歴

1963年3月15日 入会
1974年～75年 会長
1998年3月13日 35周年実行委員長
美術同好会 主宰



3 回読みなさい = 定款細則 =

大 野 義 彦
(岩倉 R C)

新しい21世紀に当たり、これからのロータリーはどう在るべきかを検討しようとするとき、若干マンネリ化した現在のロータリー活動に活力を与えるためには、先ず親睦と奉仕の原点に思いを致し、足元を見つめ直すことが必要であろうと考えます。

大きな世界的な組織の中にあるクラブですから自ずと規則によって拘束されることは当然であり、又かかるクラブの構成員である個々のロータリアンも例外ではありません。基本的な規則が定款であり細則であります。

今から30年前、私が入会して2ヵ月目に当時の江南クラブの中村会長と福田幹事から「大野君、意味が分からなくてもよいから定款細則を3回読みなさい。」と諭されました。言われた通り読んではみましたが、なかなか理解出来ず空しさだけが残ったことを覚えております。後に新生岩倉クラブにキーメンバーとして移籍し、その後会長、分区代理、地区国際奉仕委員長を務めさせて頂いた間幾度となく定款細則、手続要覧を読んだおかげで軌道を外す事なく職責を全うすることが出来たと思います。やはりこれはロータリー活動の基本であると痛感しております。

しかし、通常のロータリー活動では、これらをあまり意識していないのが普通です。うっかりしていると定款細則に抵触するような事を気づかないうちに行っている場合もあるかもしれません。

私は21世紀の初頭にあたり、先ず規則に則った軌道を確認することから始め、正すべき点は勇気をもって正すことが必要であろうと思います。その上で善意と思いやりの心を大切に育みながら、暖かく楽しいクラブの雰囲気造りに更に一層努力すべきときであるし、そこから全ての活動が始まるのだと考えております。

ロータリー歴

1970年 江南ロータリークラブ入会
1976年 同クラブ幹事
1979年 岩倉ロータリークラブ創立キーメンバー
1982年 岩倉ロータリークラブ会長
1991年 第2760地区東尾張分区分区代理
1993年 第2760地区 地区国際奉仕委員長
1999年 岩倉ロータリークラブ創立20周年実行委員長
マルチプル ポールハリス フェロー 米山功労者 ベネファクター



序曲 「問題意識の喚起から」

櫻 木 邦 衛
(名古屋名駅 R C)

20世紀の前半、世界は400年間の植民地の獲得競争から、その再配分と独立開放という大きな転換が、二つの大戦の4000万人を超える犠牲という代償を支払って行われた。しかし後半は東西対立と局地紛争はあったものの平和と発展が維持できた時代であった。

この100年間に3人でスタートしたロータリアンは118万人に増加したが、21世紀のロータリー活動は、どう変化するのでしょうか。現在のロータリアンの大半はこの1/3の期間すらも体験できないし、100年間の社会を予見することなど到底不可能である。

しかし、現在の地球環境は温暖化と人口の増加が着実に進んでおり、これに起因する異常気象や食糧不足といった人類の危機が近づきつつあるという不安も否定できない。またこれを防ぐ有効な手段も取られていない。

この地球規模の課題にほんの一部でしかないロータリアン達が立ち向かうことが可能であろうか。

ポール・ハリスの時代、結成後間もないロータリアンは世界大戦とその後の大恐慌の中で、人道的奉仕と職業道德の高揚、さらには世界平和に全力を傾けてきた。

我々は次の世紀に何をなすべきであろうか。人類が健康で安心して生活できる環境を守るための手段を原点に戻って考える時ではなかろうか。

ポール・ハリスの言葉に「ロータリーの物語は幾度も書きかえなければならない」がある。20世紀のロータリアンはその活動において大きな功績を残した。21世紀のロータリーは社会環境の変化に対応して、その活動は抜本的な改革が求められるのではなかろうか。

まず問題意識の喚起からその序曲が始まる。

ロータリー歴

1994年9月21日 名古屋名駅ロータリークラブ入会
1994年～'95年 同 親睦活動委員会
1995年～'96年 同 社会奉仕委員会 環境保全
1996年～'97年 同 職業奉仕副委員長
1997年～'98年 同 社会奉仕委員長
1998年～'99年 同 副会長/クラブ奉仕委員長兼任
1999年～'00年 同 会長エレクト
2000年～'01年 同 会長

おめでとうございます

名古屋名北RC創立20周年

日時：平成13年3月2日(金)
場所：ウェスティンナ ゴヤキャッスル

名古屋名北ロータリークラブの創立20周年記念式典が3月2日にウェスティンナゴヤキャッスルに於いて福田清成ガバナー始め多くのご来賓のご臨席をいただき開催されました。

午後5時より記念例会を開催し会長挨拶に続き、来賓紹介、幹事報告等の諸報告、物故者回顧並びに黙祷、20周年記念事業の報告及び目録贈呈として来賓祝辞を賜わり記念例会を終了しました。

引き続き6時20分より祝宴を催し、実行委員長の挨拶並びに伊藤鶴吉地区幹事の乾杯に始まりご来賓、会員共和気あいあいと楽しいひとときを過ごし、20年が無事に経過したことを喜びながら20周年記念式典を盛大裡に閉会しました。

20周年記念事業

1. ロータリー財団へ5,000ドルを贈呈
2. 米山記念奨学会へ50万円を贈呈
3. 愛知県北警察署へデジタルカメラ4台を寄贈
4. 名古屋市北区役所へ北文化小劇場のどん帳並びに災害救助用ゴムボート1台寄贈
5. 名古屋市北消防署へ緊急災害対策用自転車3台寄贈
6. 名古屋市北保健所へパーソナルコンピューター寄贈
7. 名古屋YMCAへ40万円贈呈



おめでとうございます

名古屋名南RC創立10周年

日時：平成13年2月13日(火)
場所：名古屋マリオットアソシアホテル

平成13年2月13日、当クラブの創立10周年記念式典を開催させて頂きました。当日は福田ガバナー、松原名古屋市長はじめ多数のご来賓の方々に加えて、会員、家族あわせて180名ほどのご参加にて盛大に開催出来ました。特に遠くハワイよりホノルルサンセットロータリーの方々のご出席は我々の大きな喜びでした。

当クラブは1991年2月、名古屋東南ロータリークラブをスポンサークラブとして、特別代表故熊谷勝平様ご指導のもと、会員59名にて創立致しました。

当クラブの特色は

1. 夜間例会であること
2. 名古屋で最初に女性会員を入会させたこと
3. 明るく楽しくをモットーにのびのびとした活動であります。

記念式典は、物故会員の黙祷に始まり、記念事業報告では、創立以来のテーマである「青少年健全育成」に関する色々な事業をビデオにて紹介致しました。

この「青少年健全育成」活動はこの10周年の記念事業というだけでなく、創立以来はぐくんで来たものであり、今後も継続してさらに充実させていく計画です。

福田ガバナー、松原名古屋市長から頂いた祝辞では特にこれら「青少年育成」につきおほめを頂き、高い評価を頂いた事は我々の大きな喜びです。

今後も、初心を忘れることなく各種事業を積極的に進めてまいります。



おめでとうございます

尾張旭RC創立30周年

日時：2001年2月10日
場所： 그레이セル(瀬戸市)

尾張旭ロータリークラブは1971年(昭和46年)1月22日創立、翌2月11日にRI加盟承認、今年は記念すべき創立30周年を迎えました。尾張旭市市長朝見政富氏を始め各界の方々、RI第2760地区ガバナー福田清成氏を始め、友好クラブ各会長諸氏を含め、26名のご来賓の列席を得て、大変光栄に思い心引き締まる思いでした。



「尾張旭市吹奏楽の集い」が尾張旭市文化会館大ホールで開催され、市内3中学校、1高校、それに県立芸術大学の協力により、同大学吹奏楽団の演奏もあり、盛り上がりましたが、特に

続いて記念事業に移り、まず、「記念講演会」韓国より招いた李始柱氏の講演、翌11日に「尾張旭

中高生による、力一杯の演奏、聴衆の惜しめない拍手に感動が沸き上がりました。続いて2月23日にシンボルロードにおいて朝見市長の出席を得て、「記念植樹式典」3月2日の「尾張旭市社会福祉協議会に軽自動車の贈呈式」をもって、創立30周年記念事業は終わりました。

今後とも創立30周年式典の感動を糧に、地域に密着した奉仕を、なお国際奉仕に発展する様心がけ、ロータリー奉仕活動を展開

して参りたいと思っております。



田原ローターアクトクラブ

平成13年1月21日、田原RACでは、地区事業の一環として、児童虐待についての公開例会を講師に豊橋児童相談所の入山寛氏を招き、ビジターには田原福祉専門学校生や会員の友人を呼び実施しました。

まず、児童虐待についての定義や防止対策などを、アクトで調査したことを簡単に説明し、その後、入山氏の講演へと移りました。

講演の内容は

1. 児童相談所の概要
2. 児童虐待の防止等に関する法律
3. 虐待相談事例

という順に行われました。

虐待相談の状況は、平成11年度は12件であったのに対し、平成12年度は25件と約2倍に増加していました。ただし、通報があった25件中、23件は、虐待ではないということであったので、本当の虐待の現場に立ち会ったのは非常に少ないということでありました。

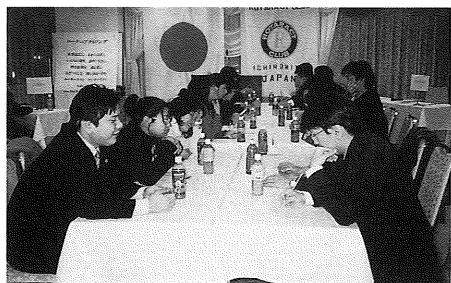
講演終了後は、ビジターを交えて4グループの分科会を行い、講演の感想や討論を行いました。活発な意見交換が行われ、予定時間があっという間に終わりました。



一宮ローターアクトクラブ

私達一宮RACは、平成12年10月19日に江南RACと小牧RACと合同でCAPNA（子ども虐待防止ネットワーク）より安藤明夫氏を招いて、講演会を行いました。当日は公開例会という事で、一般の方にも参加して頂き、幼児虐待について一緒に考えてもらいました。その後、これをもとに、平成13年2月1日に尾張ゾーン合同例会で、今度は会員自身に幼児虐待についての意見を述べてもらい、1人1人が幼児虐待について考えるよい機会になったと思います。

4月には当クラブ恒例のチャリティーバザーを開催する



予定で、現在クラブ一丸となって取り組んでいます。

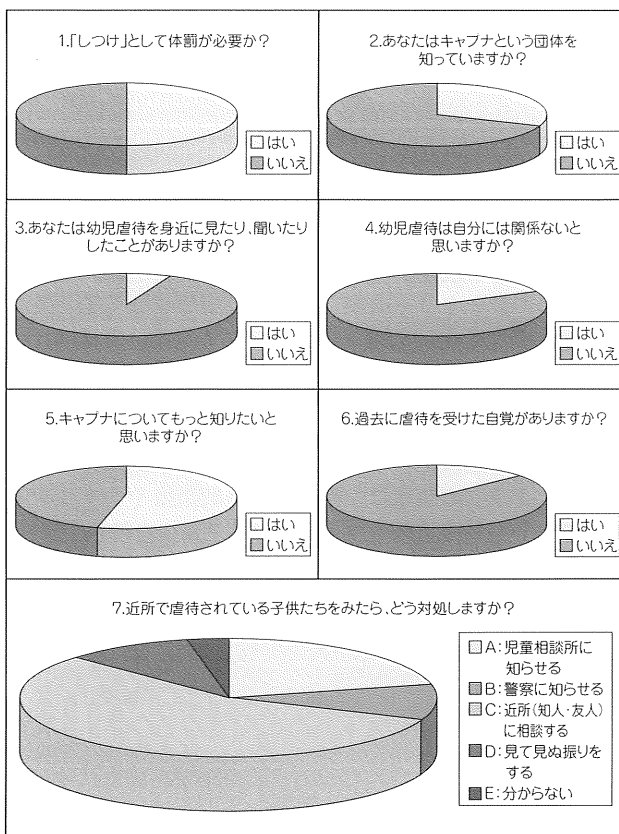
名古屋港ローターアクトクラブ

私達、名古屋港RACは毎年の恒例行事である献血活動と合わせて3月4日(日)に名古屋の栄広場にて一般の方を対象に幼児虐待に関するPR（パンフレット配布）と路上アンケート調査を実施しました。これは一般の方に虐待防止について少しでも関心を持って頂こうという目的で実施しましたが、お忙しい中にも関わらず献血を希望して下さいました方100人中、60人もの方たちがアンケートにご協力して下さいました。

アンケートの内容は、虐待を身近に見た場合の対処方法や過去に虐待を受けた経験の有無などかなり核心に迫った内容で行いました。

1. 全般の傾向から見て最近のメディアの影響もあり、幼児虐待について関心が高いことが分かった。
2. 残念ながらキャプナについての認知度は、まだ今のところ低いことが分かった。
3. 今回若年層（未婚者）が多かったにもかかわらず、体罰はしつけとして必要と考える方が多かった。

今回の活動を終えて、引き続き虐待防止について広く社会にPRしていきたいと思いました。私達が出来る活動は小さい物ですが、こうした活動を積み重ねて少しでも社会奉仕に従事していきたいです。



江南ローターアクトクラブ

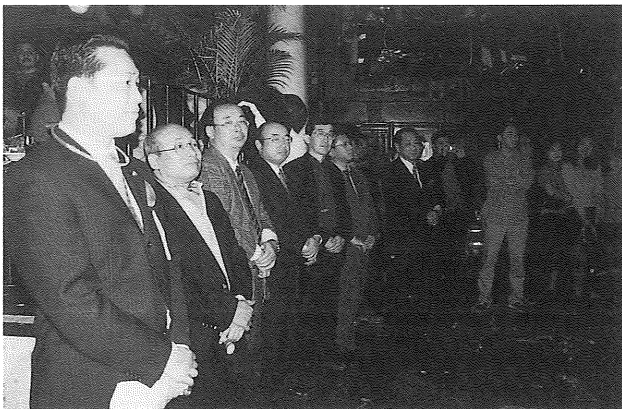
江南RACは、現在13名（男6名女7名）で活動しております。私達の主な活動は、平成11年2月に創立20周年記念式典で公約致しました①毎月1回の清掃活動、②牛乳パック回収、そして③マイ箸運動をおこなっております。

- ①清掃活動は、早朝1時間半ぐらいおこない、毎月国道155号線中央分離帯のゴミ拾いに力を入れて、毎回ゴミ袋20袋分ほど拾います。
- ②牛乳パック回収は、例会場に回収箱を設置し、市民の皆様にも協力して頂き、回収した牛乳パックを施設へ持って行き、ハガキやトイレトペーパーとして再利用しています。
- ③マイ箸運動は、例会の食事の際に割り箸を使わず、クラブで管理している箸を使い、ロータリアンの皆様にも協力して頂いております。

小牧ローターアクトクラブ

私共小牧RACは、一宮・江南と3クラブ合同で本年度地区のテーマでもある「子供の虐待について」と題し、平成12年10月19日(木)に小牧ふれあいセンターにて「子供の虐待防止ネットワークあいち」の安藤様を講師としてお招きし、講演会を開催いたしました。当日は、ロータリアンを始め一般の方を含め100名ほどのご参加をいただき、盛大な会を開く事が出来ました。講演内容として、子供の虐待の現状などを予定しておりましたが、講演会前日に、武豊町で行った虐待による死亡事件の内容説明になりました。新聞記者でもある安藤様がお自分で足をはこばれ通常新聞だけでは分からない内容、検死内容などをくわしく話して下さい、虐待とは、とてもむごいものと言う事をお教えられた、貴重な1日でした。又、そういった非現実的な事が、日常どこにでも起きる現代にも問題があるのでは、と考えさせられる1日でもありました。

名古屋熱田ローターアクトクラブ



名古屋熱田RACでは現在27名でクラブ活動を行っています。今期の活動内容としては 会員同士の親睦の為のキャンプやボーリング大会、清掃活動や福祉施設への慰問、講師をお招きしての卓話（手話、中国について、証券）などがあります。今期の地区事業は子供の虐待防止についてアクター以外の方たちと例会の場をもつというものでした。私たちは毎年主催しているクリスマスパーティーでCAPNA（子供の虐待防止ネットワーク）の紹介をすることにしました。今回も多く的一般の方やロータリアンの方に参加して頂、この機会に少しでもCAPNAについて知って頂きたいと思いました。又、その時に集められた募金はCAPNAに寄付しました。

これからも様々な分野で意義のある活動を続けていきたいと思ひます。

名古屋名城ローターアクトクラブ

名古屋名城RACは、現在会員数43名にて活動しております。今年度は、新爽快展を活動テーマとして、クラブ内外で幅広く活動し、特に昨年度から関わっている地区テーマ児童虐待防止への参加に力をそそいでおります。現在その活動は、一昨年学んだ児童虐待の現状や、児童虐待防止ネットワーク愛知（CAPNA）の存在をアクター以外のロータリークラブやインターアクトクラブの会員の皆様、又その人の友人・知人の方々に広く知ってもらえるように、ロータリークラブの皆様との合同例会や留学生の方をご招待した国際交流パーティーなどを中心に活動しております。



第4回 地区ライラ委員会開催報告

日時：平成13年2月7日(水) 場所：地区事務所 PM2:00～PM3:30

地区ライラ委員会委員長 加藤 鈴 幸(豊田西RC)

出席者：藤井ガバナー補佐、倉知地区副幹事、鶴田地区新世代委員長、加藤地区ライラ委員長、中山地区ライラ委員、金子地区ライラ委員、松井地区ライラ委員、沢田地区ライラ委員、中根地区ライラ委員、浜島地区ライラ委員、中根豊田西RCライラ実行委員長、深津豊田西ライラ実行委員会副委員長、寺田豊田西RCライラ実行委員会副委員長、谷山豊田西RCライラ実行委員会幹事

最初に加藤地区ライラ委員長の司会で、藤井ガバナー補佐、鶴田地区新世代委員長、倉知地区副幹事の各々のあいさつで始まり、その後地区ライラ委員全員、特別出席者の中根豊田西RCライラ実行委員長、深津、寺田豊田西RCライラ実行委員会副委員長の両名、谷山豊田西RCライラ実行委員会幹事の自己紹介が行われた。

報告事項として第1に第9回ライラセミナーの最終状況について中根豊田西RCライラ実行委員長より下記のような報告があった。

まずパネリスト1名に変更がある。新しいパネリストは弁護士甲村和博氏である。

現在(平成13年3月6日付)特別出席者29名、受講生151名、出席ロータリアン100名である。

又、予算に関しては現在10数万円の赤字決算であるが、今後、黒字決算になるように努力する。

その後、鶴田地区新世代委員長より、ライラセミナー開催日に行なわれる第2回新世代委員長会議の開場設営、運営方法についての説明があった。

第2にライラ、ライラセミナーのアンケート結果の集計

について加藤地区ライラ委員長より説明があった。概要は下記の如くである。

目的はライラに関する第2760地区のロータリアンの認識理解度及びライラセミナーに関する各ロータリークラブの意見を聞き、今後の参考にするため実施した。

方法としては第2760地区の78RCにアンケート用紙を送付し調査した。

結果は送付数78RC、回答数65RC、回答率84%。

アンケート結果による考察

ライラの意味は各RCの50%～60%のロータリアンが理解している。次にライラセミナーに関しては、ホストクラブに指名された場合快く引き受けると答えたRCは12RC(65RC中)。ライラセミナーの現在の実施方法に関しては、異義を答えたRCは少なく、保守的傾向が強い。

又各RCにライラ委員及びライラ委員会設置の予定に関しては、大多数のRCが予定なしでライラに関する活動意欲、関心度が少ない。

次に協議事項に入り、第9回ライラセミナー実施日(平成13年3月17日)にライラセミナー受講修了者友の会の設立会を開催する。設立に関しては、地区ライラ委員会が中心となり、フォローする。

又ライラセミナー受講生の感想文の表彰に関しては、優秀作品10点を選びその感想文をライラセミナー報告書にのせる。そしてその選考は地区ライラ委員会で行う。

地区ライラ委員会もなごやかな雰囲気で行進し、トラブルもなく時間内に終了した。次回委員会はライラセミナー修了後開催予定である。



あまRCで慶事

酒井和雄 副会長で令息 文和さんと 堀江承元 幹事で令嬢 恭子さんが結婚

2001年2月17日(土)、ヒルトン名古屋にて招待者多数ご出席のもと、結婚式、続いて披露宴がとり行な

れた。席上、鈴木孝則あまロータリークラブ会長が媒酌人として挨拶。2000-2001年度、福田ガバナー年度におけるクラブ運営の意見交換を何回か重ねるうち、それぞれの家族の話に花が咲いた。お互いに良いお嫁さん、良いお婿さんを探しているということで、鈴木会長が取りもち、初デートを設営、昨年2月27日が運命の出会いとなったと経過を披露。家庭を愛し、仕事に勤しみ、

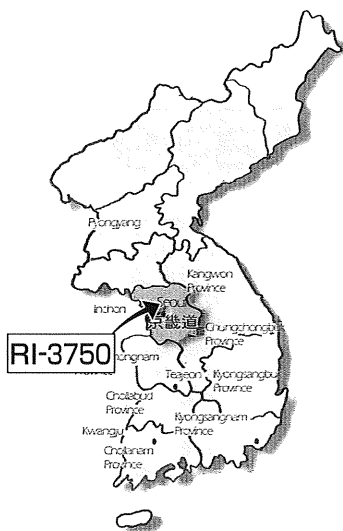


社会に奉仕するご両親をお手本にして立派な家庭を築き上げて欲しいと結んだ。

福田清成ガバナー、伊藤鶴吉地区幹事、姉妹クラブの香港・九龍北R.C. ウィリアム ベンター会長、台湾・汐止扶輪社・彭賢明社長等ロータリー関係者から多数の祝電が寄せられ幸せに花を添えた。

今、あまR.C.では鈴木会長、酒井副会長、堀江幹事を中心に大いに盛り上がっている。

媒酌人 鈴木孝則会長



R I - 2760 地区 2001 ~ 2002 年度

研究グループ交換(GSE)

派遣メンバー募集

今秋！「大韓民国」へ！

国際ロータリー2760地区GSE委員会

研究グループ交換(Group Study Exchange)はロータリー財団事業の一つとして1965年に発足した非常に重要な国際交流プログラムです。若い実業人及び専門的職業人に他国の職業と文化について交流と親睦の場をつくり真の国際理解を促進することを目的としています。今年度は大韓民国と交流予定であり、今回派遣メンバー候補者を下記要領にて募集いたします。各クラブの皆様にご推薦ご協力をお願いを申しあげる次第であります。

記

2001~2002年度 研究グループ交換 派遣メンバー募集要項

1. 派遣先 R I 第3750地区。大韓民国の首都ソウル市を囲む京畿道の全域。
2. 派遣期間 2001年10月2日~11月2日の32日間
3. 費用 往復航空運賃はロータリー財団、滞在費はR I 第3750地区が負担
4. 派遣人員 4名(応募者中より選考委員会で決定)
5. 応募資格要件
 - ①ロータリアンとその直系親族を除く日本人
 - ②愛知県内に居住又は勤務する25才から40才までの健康な方で性別は問いません
 - ③専門職業の実務経験が少なくとも2年以上ある常勤の正社員で、帰国後もその実務の従事する見込みのある人(公務員・教職員も含む)
 - ④ある程度の英語が出来る人
6. 応募方法 次の応募書類を最寄りのロータリークラブへ提出
 - ①メンバー参加申請書(所定用紙はクラブにあります) 1枚
 - ②写真(カラー5cm×5cm) 1枚
 - ③作文(参加申請書3頁に示す「チームメンバーの意図を表明するエッセイ」として400字詰原稿用紙2枚程度に応募の動機や意欲のほどを書いて下さい)
7. 募集期限 最寄りのロータリークラブへ2001年5月15日までに提出願います

詳しいお問い合わせは…

国際ロータリー2760地区事務所

〒450-0002 名古屋市市中村区名駅3丁目12番5号 竹生(チクブ)ビル別館 2F
TEL 052-541-2760 FAX 052-541-0050

ご入会おめでとうございます

分 区	ク ラ ブ	氏 名	生年月日	会 社	職 業 分 類
南 尾 張	常 滑	築山 貞之	1945. 2. 25	(株)七番組 (常滑)	建設請負
	東 海	紫山 訓康	1951. 10. 21	愛知製鋼(株)	鉄鋼鍛造
西 尾 張	尾 張 中 央	日比野 豊	1940. 11. 8	(有)江南義肢製作所	義肢
東 尾 張	犬 山	石田 太郎	1947. 4. 19	(株)三新製作所	自動車スポンジ製品加工
	//	佐々木英三	1949. 2. 11	サントリー(株) (木曽川)	蒸留酒製造
東名古屋	名 古 屋 北	清水 斉一	1937. 6. 5	(株)ヤナセ (名古屋)	輸入車販売
	名古屋東山	林 国廣	1951. 2. 2	(株)ワールドフロアー	造園
	//	新熊 清	1941. 4. 25	名古屋学院大学	私立大学教授
西三河中	豊 田 東	鈴木 孝治	1953. 1. 16	(有)大見高原牧場	畜産
西 三 河	知 立	渡辺 浩二	1960. 3. 5	(株)豊光設備	管工事業

新ポール・ハリス・フェロー 2・3月分

桑山 和彦様 (東 知 多)	田中 清隆様 (小 牧)	加藤 智康様 (西 春日 井)
山下 哲夫様 (豊 田 中)	永井 映廸様 (豊 田 中)	大塚 哲夫様 (豊 田 中)
梅村 和伸様 (豊 田 中)	正木 八良様 (豊 田 中)	竹下 豊様 (碧 南)
新美 皓哉様 (名 古 屋 錦)	竹田 竜弥様 (瀬 戸 北)	増岡 弘之様 (瀬 戸 北)
梅木 健一様 (名古屋名南)	縣 政行様 (豊 橋)	梅村 浩至様 (豊 橋)
山田 享司様 (豊 橋)	馬嶋 慶直様 (名 古 屋)	鈴木太刀雄様 (名古屋名東)
小林 正忠様 (蒲 郡)	林 哲司様 (蒲 郡)	矢島 秀明様 (碧 南)
塚本 宏治様 (瀬 戸 北)	小林 佳雄様 (豊 橋 南)	

文 庫 通 信 162号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料 (貸出可) など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

一度は読んでみたい本(2)

- ◎「ロータリーの創設者ポール・ハリス」ポール・ハリス 米山梅吉訳 1986 157頁
[申込先: 京都西南R.C. FAX(075)361-3636]
- ◎「ロータリーへの私の道 抄録」ポール・ハリス 1984 102頁
[申込先: サービスセンター TEL(03)3903-3194]
- ◎「過ぎし時に敬意を表して: ポール・ハリス語録」R.I. 1996 147頁
[申込先: サービスセンター TEL(03)3903-3194]
- ◎「ロータリー通解」ガイ・ガンディカー 小堀憲助訳 田無R.C. 1971 69頁
[申込先: 神奈川千種会 FAX(044)711-8228]
- ◎「我が自叙伝」ハーバート・J・テラー 菅野多利雄訳 1992 219頁
[申込先: 緑が丘病院 FAX(022)366-6243]
- ◎「奉仕の冒険」R.I. 1981 130頁 [申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「平和への七つの道」R.I. 1977 124頁 [申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「われらのつとめ ロータリー物語(一)」直木太一郎 神戸R.C. 1965 99頁
[申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「世界と共に ロータリー物語(二)」直木太一郎 神戸R.C. 1964 129
[申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリー定礎の三人」塚本義隆 大阪R.C. 1979 42頁 [申込先: ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

特別寄付報告

2001年2月分

財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 末永 直行

クラブ名称	クラブ記入金額	個人記入金額	法人記入金額	合 計	件 数
あ ま	0	750,000	0	750,000	7件
半 田	0	110,000	0	110,000	3件
半 田 南	0	30,000	0	30,000	1件
碧 南	168,000	0	0	168,000	1件
春 日 井	0	150,000	0	150,000	1件
名 古 屋	0	150,000	30,000	180,000	6件
名 古 屋 東 山	0	960,000	0	960,000	23件
名 古 屋 空 港	0	-300,000	300,000	0	2件
名 古 屋 名 南	0	1,240,000	0	1,240,000	37件
名 古 屋 南	0	190,000	0	190,000	16件
名 古 屋 守 山	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 中	0	1,050,000	0	1,050,000	26件
岡 崎	0	10,000	0	10,000	1件
岡 崎 東	11,610	30,000	0	41,610	2件
岡 崎 城 南	0	50,000	0	50,000	1件
岡 崎 南	0	10,000	0	10,000	1件
尾 張 旭	100,000	0	0	100,000	1件
瀬 戸	0	30,000	0	30,000	1件
田原パシフィック	0	825,000	0	825,000	58件
豊 橋 北	0	20,000	0	20,000	1件
豊 川 宝 飯	0	90,000	0	90,000	3件
豊 田 東	0	420,000	0	420,000	14件
地 区 合 計	279,610	6,115,000	330,000	6,724,610	207件

◆ 計 報 ◆ (謹んでお悔やみ申し上げます)

佐藤 三郎様 名古屋みなとロータリークラブ 平成13年 2 月 4 日

地区内関係事務所の御案内

ガバナー事務所

〒483-8205
江南市古知野町小金112 江南商工会館内
TEL0587(52)5200 FAX0587(52)5252
E-mail: governor00-01@rotary2760.org

ガバナーエレクト事務所

〒444-0059
岡崎市康生通西3-16 康生ビル406
TEL0564(65)5552 FAX0564(65)5553
E-mail: governor01-02@rotary2760.org

地区事務所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-12-5
竹生ビル別館(ちくぶビル)
TEL052(541)2760 FAX052(541)0500
E-mail: office@rotary2760.org
http://www.rotary2760.org

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 会員数および出席報告 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第2760地区

平成13年2月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年7月1日	当月末	増減	女性会員
南尾張分区	半 田	98.73	4	73	68	-5	0
	常 滑	97.98	4	72	71	-1	0
	東 海	94.81	4	48	53	5	1
	東 知 多	95.89	4	65	66	1	0
	半 田 南	98.75	4	65	63	-2	0
	知 多	97.43	3	41	42	1	0
	6RC	97.27	23	364	363	-1	1
西尾張分区	一 宮	99.37	4	85	82	-3	0
	津 島	100	4	77	81	4	0
	尾 西	95.66	3	59	56	-3	0
	一 宮 北	93.57	4	72	73	1	1
	稲 沢	98.79	4	62	64	2	0
	あ ま	100	3	94	97	3	0
	西 春 日 井	97.67	4	60	60	0	2
	尾 張 中 央	97.95	4	54	55	1	0
	一 宮 中 央	96.74	4	70	70	0	5
	9RC	97.75	34	633	638	5	8
東尾張分区	瀬 戸	100	4	84	86	2	0
	犬 山	100	4	83	85	2	0
	江 南	100	4	73	76	3	0
	小 牧	92.56	4	74	71	-3	0
	春 日 井	98.82	4	82	85	3	3
	尾 張 旭	99.15	4	59	59	0	0
	名古屋空港	97.60	3	58	59	1	0
	瀬 戸 北	100	4	71	73	2	0
	岩 倉	97.14	4	36	36	0	0
	豊山ー城北	94.59	4	44	44	0	2
	10RC	97.99	39	664	674	10	5
西名古屋分区	名 古 屋	95.98	4	215	221	6	0
	名 古 屋 西	96.07	4	140	142	2	0
	名 古 屋 南	99.19	4	120	124	4	0
	名古屋みなと	100	4	118	118	0	0
	名古屋東南	98.18	4	79	79	0	4
	名 古 屋 中	98.96	3	153	156	3	0
	名古屋瑞穂	98.80	4	97	95	-2	0
	名古屋大須	99.01	4	92	81	-11	0
	名 古 屋 栄	98.81	3	85	84	-1	0
	名古屋名駅	98.01	4	111	115	4	1
	名古屋名南	97.92	4	90	90	0	17
	名古屋西南	96.44	4	60	60	0	8
	12RC	98.11	46	1,360	1,365	5	30
東名古屋分区	名 古 屋 北	98.15	4	111	110	-1	0
	名 古 屋 東	97.97	3	105	103	-2	0
	名古屋守山	93.91	4	79	78	-1	5
	名古屋和合	100	4	108	111	3	0
	名古屋名東	100	4	82	81	-1	8
	名古屋名北	99.54	4	67	68	1	6
	名古屋千種	98.80	4	70	70	0	5
	名古屋昭和	99.54	3	74	76	2	0
	名 古 屋 錦	96.94	4	57	52	-5	12
	名古屋東山	98.44	4	61	66	5	0
	10RC	98.33	38	814	815	1	36
東三河分区	豊 橋	98.85	4	130	128	-2	4
	蒲 郡	96.70	4	74	72	-2	0
	豊 橋 北	98.67	4	110	111	1	2
	豊 川	97.98	4	77	78	1	0
	田 原	96.12	4	70	73	3	1
	豊 橋 南	98.89	3	66	69	3	0
	新 城	91.43	4	69	67	-2	0
	渥 美	90.34	4	61	60	-1	0
	奥 三 河	92.40	3	37	35	-2	2
	豊 川 宝 飯	96.43	4	64	63	-1	0
	豊橋ゴールデン	96.43	4	76	72	-4	0
	田原パシフィック	97.57	4	72	68	-4	0
	豊 橋 東	100	4	50	51	1	0
	13RC	96.29	50	956	947	-9	9
西三河中分区	岡 崎	99.51	4	107	113	6	1
	豊 田	98.63	4	84	92	8	0
	岡 崎 南	98.03	4	108	111	3	3
	豊 田 西	100	3	102	100	-2	0
	岡 崎 東	99.09	4	97	100	3	0
	豊 田 東	99.03	3	95	94	-1	0
	岡 崎 城 南	98.61	4	74	72	-2	0
	豊 田 三 好	93.68	3	30	29	-1	2
	豊 田 中	100	4	53	54	1	4
	9RC	98.51	34	750	765	15	10
西三河分区	刈 谷	100	3	99	104	5	0
	安 城	95.12	4	73	70	-3	0
	西 尾	100	4	78	80	2	1
	碧 南	100	4	78	81	3	0
	一 色	100	4	50	49	-1	0
	高 浜	99.49	4	50	51	1	3
	知 立	100	4	60	64	4	0
	西尾KIRARA	100	4	67	69	2	0
	三 河 安 城	96.70	4	42	43	1	1
	9RC	99.03	35	597	611	14	5

地域内クラブ数 78RC	2000.7.1会員数	6,138名	増 加 会 員 数(累計)	267名
	当 月 末 会 員 数	6,179名(内女性104名)	減 少 会 員 数(累計)	226名
	当 月 平 均 出 席 率	97.91%	差引純増会員数(累計)	41名

表紙に寄せて――

福田ガバナーが折にふれ、読んだり、見たり、聞いたりの中で、平易な内に含蓄のある言葉を編集スタッフで選んだものです。

●書家・画家プロフィール

書：富永奇洞

富永正明・号奇洞／篆刻・書道家
奇洞会会主・東海書道芸術院副会長
江南市教育委員長／文部大臣・県教育表彰(社会教育功労)
1998～1999年度江南RC会長

画：岩田明生

岩田 明・号明生／洋画家
江南市文化協会理事
昭和54年以後白日会連続出品
白日賞／文部大臣賞／
現在白日会会員